

三郷市の財務分析レッスンコーナー

世界的な不況にも関わらず、平成 21 年度の三郷市の税収は増える予定です。武蔵野操車場の開発効果による固定資産税が増えることが主な理由ですが、今後も固定資産税を中心に税収がアップしていくでしょう。

そこで、こういう時こそ注意してほしいものがあります。それが、三郷市の貯金残高です。今回は、三郷市が金融機関に預けている貯金（専門用語で基金といいます）のことをとりあげます。

三郷の子供たちのために

貯金をしよう!!

以下の表から、三郷市の貯金が過去 15 年間に大幅に減少しているのが分かります。三郷市においては、ここ 3 年間貯金残高は増えているものの、過去最高の貯金残高の平成 4 年度と平成 20 年度を比べると、貯金は 1/3 に減っている一方、三郷市の借金は倍増しているため、借金に比べ、貯金はまだまだ足りません。

<三郷市の貯金の残高>

平成 4 年度	43 億円
平成 20 年度	14 億円

<三郷市の市債（借金）の残高>

平成 4 年度	338 億円
平成 20 年度	700 億円



<三郷市の貯金の推移>

基金の種類	最高貯金残高時	H20 年度末残
財政調整基金（災害など緊急用資金）	24 億円	12 億円
公共施設整備基金（施設の建設・維持管理資金）	18 億円	100 万円
減債基金（借金の返済資金）	9 億円	400 万円
地域福祉基金（保険福祉活動の資金）	2 億円	2 万円
みどりの基金（緑の推進と保全の資金）	1 億円	400 万円

その他にも基金があります・・・。

老後のために貯金をしよう!!

借金が増えているのだから、貯金が増えていないと、子供たちに負担のしわ寄せができてしまうことになります。

だから、子供たちのために、これから生まれてくる子供たちのために、または、老後のために、毎年少しづつでも三郷市の積立型預金を積み立てていこうと提言しているのです。この姿勢は、資金市場でも評価されたり、三郷市の印象アップにもつながるのではないのでしょうか。

もし、税金が自分のお金であったら!!

自分のお金だったら、子供の教育資金のために、我慢してでも貯金しようとする。
自分のお金だったら、自分の老後資金のために、我慢してでも貯金しようとする。

ところが、自分のお金だけでなく、他人のお金が混じる税金となると、自分のお金のように大事にはしなくなるのは、残念ながら、人間の性ともいえるべきものです。

これから生まれてくる世代へと・・・

ついつい、選挙の洗礼を受ける私たち議員は、選挙権のある方々だけを念頭にして政策を考えがちですが、選挙権のないこれから生まれてくる子供のことも考えなくてはなりません。だからこそ、子供達のために、毎年一定額の貯金を積立てて欲しい。

三郷市は今生きている自分たちのものだけでなく、これから生まれてくる子供たちのものでもあるからです。

